



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立北陽中学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

「最初の一文で本を選ぶ 『本のまくら』展示」

本の中身を見ずに「書き出し」を読んで、ピピッときた気になる本を選ぶ展示を行いました。思いがけない本との出会いを楽しみながら選んでほしく、図書局員たちが本を選び、書き出しの一文を手書きで書きました。

借りた人の感想は、「想像していた本と違って、面白かった」や「書き出しが気になって借りた」など、それぞれが本を選ぶときに楽しんでくれたようです。ちなみに、「ほんのまくら」とは、本の書き出しを表す造語です。



学習センターとしての機能

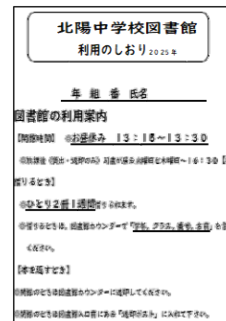
「中学1年国語 図書館オリエンテーション」

図書館の利用方法を中学1年生国語の授業の時間に実施しました。「図書館利用のしおり」を使って、「日本十進分類法」に基づいて本が分類されていることを説明しました。本を探すときの手がかりなることを学習したあと、実際に自分の好きな本を、本棚から選びその本のNDCを見て、どの分類に当てはまるか確認し、図書館の配架の仕組みを理解しました。

その他、本以外に新聞等や Chromebook の「まな bell」など多様な資料があることを説明しました。

「まなベルの活用」

↓道新の1面が読めるよ



「図書館利用のしおり」

情報センターとしての機能

「新聞2社の一面読み比べ！ ～図書館は社会とツナガル～」

日本や世界の大事な出来事を新聞一面で知ることができます。新聞社によって読み比べることで、記事の違いを知り複数の情報から判断することが大切であることを伝えました。

また、図書館には記事と関係がある本がたくさんあることや、社会の出来事を図書館の本でよりくわしく知ることができることを紹介しました。

